



はとのさと保育園クラスたより



3月

ひよこ組(0歳)

少しずつ寒さがやわらぎ、春の訪れを感じる季節となりました。子ども達は毎日元気いっぱいに過しています。

節分では鬼のイラストに向かって「えいっ」とボールを投げたり転がしたり楽しみました。保育者が鬼のお面をつけて登場すると、興味津々な様子で見つめ、壁に飾っている自分たちで作った鬼のお面を指差して「つきたい!」と伝える姿も見られました。みんなで頭に鬼をつけ足を「ドシン!」と鬼の真似っこを楽しむ姿もみられていました。

また、生活発表会もありました。大勢のお客さんの前で少し緊張する子ども達でしたが、泣くことなく舞台上に立ち保育者やお友だちと一緒に「みつけた!」「いないいないばあ」など真似っこ遊びを楽しむ姿は、とても頼もしくこの一年心も体も大きく成長したことを感じました。

3月は戸外で春の自然に触れながら散歩にもたくさん出かけていきたいと思ひます。今年度も残りわずかとなりましたが、子ども達一人ひとりの成長を大切にしながら最後まで子ども達が安心して笑顔で過ごせるように丁寧に関わっていこうと思ひています。ひよこ組(0歳児)



りす組(1歳)

少しずつ暖かくなり、「ジャンパーいらん!」と上着を脱いで遊ぶ日も増えてきましたね。2月は生活発表会、懇談会へのご参加ありがとうございました。観客の多さに驚いて固まったり、保護者の方を見つけて嬉しくなったり、離れがたくて寂しくなったり。本番ならではの色々な姿がありました。今までたくさん遊んで楽しんできたごっこ・対立遊びを見ていただけたと思ひます。生活発表会は終わったけれど、園庭で遊んでいると遊具の裏から「べしゃんべしゃん」とかえるの怪物になって出てきて、みんなで一緒に楽しんでます。また、懇談会では少人数の参加だったからこそ、ゆっくり1年を振り返り、子どもたちの成長を改めて感じて心温まる時間になりました。

りす組で過ごすのもあと1か月。あっという間に過ぎていった1年でしたが、残りの期間も大事に過ごしていきたいと思ひます。ほかのグループの友だちとの関係をさらに深めていけるように2グループ合同で遊ぶ時間をつくり、たくさん散歩に出かけて歩く力をつけたいと思ひています。また、進級に期待を持てるようにうさぎ組さんと遊んだり、うさぎ組のお部屋に遊びに行ったりしていきたいです。

りす組(1歳児)



うさぎ組(2歳)

うさぎぐみでの生活はあと1ヶ月となりました。寂しい気持ちもありますが、成長した子ども達を見ていると嬉しい気持ちにもなっています。

生活発表会では暖かい眼差しで見ていただき、ありがとうございました。子ども達の表現やイメージを共有して1つの遊びにしていこうことや、友だちとのやり取りが「楽しい!」「もっとしたい!」と思ひて楽しく取り組んでいました。子どもは友だちから影響や刺激を受けて関わりながら色々な事を学び、成長しているのだと改めて感じました。なんだか、一回りも二回りも大きくなった気がします。

3月は、散歩にたくさん出かけながら、子どもたちと一緒に春探しを楽しみたいと思ひています。ひな祭りや修了式などの行事もあり、わくわくすることがたくさん待っています。

また、リュックサックを取り入れ、お帰りの準備を子どもたちと楽しみながら1つずつリュックに入れたり、きりん組さんと交流をしたりしながら、進級への期待が持てるように過ごしていきます。

残りの日々も、一日一日を大切に思いきり楽しんで過ごしていきたいと思ひます。うさぎ組(2歳児)



きりん組(3歳)

園庭のプランターのチュウリップが芽を出し、子ども達も毎日覗き込み、春が来るのを心待ちにしています。きりんぐみの生活も残り1ヶ月となりました。

生活発表会では、みんなでごっこ遊びを楽しみ、いろいろな役になりきりながら、友達と一緒に遊べました。当日は恥ずかしさもありませんながら、自分たちの好きな役になりきって遊べました。終わった後は、ホッとしたのか、涙も見られました。ご家庭でもお話をする機会があり、子ども達も嬉しそうでした。

今月は、たくさん散歩に出かけたり、クッキングなどを予定しています。子ども達のやってみたいと思ひ気持ちを大切にしながら、できることをみんなで考えてみたいと思ひています。また、ひなまつりでの異年齢交流をしたり、修了式などの行事もあります。進級に向けても、そうぐみさんと遊ぶ機会やお部屋にいて見たりなど、無理なく期待をもって過ごせるようにしたいと思ひています。コップ袋の導入や荷物整理なども自分たちでできるようにしていきたいと思ひます。残り少ないですが、子ども達と楽しく遊んで行きたいと思ひます。ありがとうございました。

きりん組(3歳児)



ぞう組(4歳)

寒さの中にも、少しずつ春の気配を感じられるようになってきました。2月は、生活発表会がありました。生活発表会では、役になりきって言葉を言ったり、動きを付けたりして「カミナリはもっと強くしよ!」「もう一回やりたい!」と繰り返して遊ぶ中で、少しずつ気持ちを合わせていきました。生活発表会の日が近づくと緊張してうまく言葉が出なかったり、舞台上立つ前に少し涙が出たりと緊張のドキドキが大きく膨らんでいきました。そんな緊張の中でも「大丈夫やで」「一緒にしよ」と声を掛ける姿も見られました。本番当日はたくさんのお客さんを前に緊張していたけど、一人ひとりが舞台上立ち、自分の役を表現する姿に大きな成長を感じました。終わってからは「ドキドキしたけど楽しかった!」とやり遂げた喜びが溢れていました!当日は感染症などで来られなかったお友だちも、後日、みんなが元気になった日にぞう組だけの生活発表会をしました。先生たちにお客さんになってもらい、感想も聞きました。みんなでやり遂げ、経験できたことが、子ども達の自信に繋がったように感じました。ぞう組はあと一か月でほし組になります。ドキドキしながらも自信をもって進級の日が迎えられるようにたくさん遊んでいきます!

ぞう組(4歳児)



ほし組(5歳)

保育園での生活も残すところ1か月、いよいよ卒園の月を迎えました。「もうすぐ小学校!」「ランドセルを持って学校行くの楽しみ!」と目を輝かせて話してくれる姿があります。その一方で、「保育園終わるのちょっと寂しいかも」「もっと保育園にきたい」とつぶやく姿もあります。大きくなる事への期待と慣れ親しんだ毎日が終わる寂しさの両方の気持ちを抱えながら、子どもたちは一日一日を過ごしています。

この一年、友達とたくさんぶつかり合って、たくさん笑い合いながら過ごし、様々な行事を通して諦めない力、仲間との気持ちを一つにする団結力を育ててきました。自分の思いを伝えたり、友達の気持ちを考えたりする姿も増え、年長らしい頼もしさが感じられるようになりました。最近、年下の友達に優しく声をかけたり、困っている子にそっと手を差し伸べたりする姿も見られます。その姿に心の大きな成長が感じられます。

残り僅かな園生活。今の仲間と過ごせる時間を大切にしながら思い出を更に増やしていきたいと思ひます。卒園に向けて、現在卒園式の日やりたいたいことや卒園製作にしたいことも子どもたちと一緒に考えています。卒園の日「保育園楽しかった」と羽ばたいていけるよう残り一か月たくさん遊んで充実させたいと思ひます。

ほし組(5歳児)

